

第1四半期決算は想定通り着地、 引き続き業績改善に努めよう

社長 兼 CEO
沖津 雅浩



8月に入り、私が社長に就任してから1カ月超が経過しました。7月1日に社員の皆さんにトップメッセージを発信し、社長としての私の思いをお伝えしましたが、8月1日には、私のこれまでの経歴などを紹介する記事をイントラネットに掲載してもらいましたので、確認していただくと幸いです。

さて、私はこの1カ月間、まずは日頃当社をサポートいただいている、お取引先や金融機関、メディアの方々などに、改めて社長就任のご挨拶をするとともに、引き続きのご支援、ご協力をお願いをして回りました。加えて、台湾で、劉董事長をはじめとした鴻海幹部とミーティングを行い、今後の協力関係などについて議論しました。各所では大変温かい激励のお言葉を多数頂戴しており、皆様のこうしたご期待に必ずお応えしなければならないという思いを、改めて強くしています。

本日のメッセージでは、業績や中期経営方針の具体化に向けた取り組みの状況などについてお話しします。

1. 2024年度第1四半期決算

まずは本日発表した第1四半期決算についてです。この第1四半期は、ブランド事業が、売上、利益共に対前年二桁伸長と好調に推移、デバイス事業も、

売上が減少する中、利益は赤字ではあるものの横ばいを確保しました。

この結果、全社では、売上高は前年に対して微減となりましたが、営業利益は赤字幅が縮小しています。一方、最終利益については、営業外の為替差損益が大きく変動したこと等から、前年同期を下回り、赤字となりました。

この間、為替が約38年振りの円安水準を記録し、海外からの輸入が多いブランド事業にとっては非常に厳しい事業環境となりましたが、こうした中でも、スマートオフィスは前年同期に対して2.5倍の営業利益を計上、スマートライフ&エナジー、ユニバーサルネットワークにおいても安定的に利益を確保することができています。各部門の方々の努力に改めて感謝します。

足元では、国内外で需要の減速が懸念され、今後、事業の舵取りが一段と難しくなる局面に入っていきます。こうした時こそ、お客様と直接接点を持つ営業部門の皆さんから、事業の指揮を執る責任者、さらには私をはじめとした本社経営幹部に至るまで、社内の情報連携を一層密にし、変化を機敏に察知して、迅速かつきめ細かく対応していくことが重要です。

第1四半期の業績はほぼ想定通りの着地となりましたが、今後も公表値達成に向け、全社一丸となって業績改善に努めましょう。

2. アセットライト化

次に、アセットライト化の進捗状況について説明します。まずSDPは、7月28日にパネルの最終投入を終え、今月末迄にパネル生産を停止する予定です。また、これと並行し、堺工場をAIデータセンター等に転用すべく、KDDI社及びソフトバンク社等の複数社と協議を進めています。

SDTCは、5月14日に発表した「亀山第二工場/三重第三工場の生産能力調整」及び「堺工場OLEDラインの閉鎖」を、6月末迄に全て完了し、7月9日には、三重第一工場を半導体後工程の生産ラインへと転用することについて、半導体の設計・開発・製造を行うアオイ電子社と基本合意しました。

SSTC及びSFLについては、2024年度中に鴻海への譲渡を完了することを目指し、鴻海の劉董事長と定期的にミーティングを行うなど、具体的協議を進めています。詳細については決まり次第、改めて皆さんにお伝えさせていただきます。

3. ブランド事業の強化

7月25日に、エジプトのエルアラビ社と、同国に冷蔵庫の新工場を共同で建設することについて合意しました。エルアラビ社は、エジプトにおける当社のパートナー企業で、2004年より家電製品の製造販売を委託している会社です。

彼らの協力もあって、当社ブランドは現在、エジプトにおいて、冷蔵庫とエアコンのカテゴリーでシェアNo.1を獲得しています。今回の新工場建設により、成長著しいエジプト市場において当社ブランドをより盤石なものにするとともに、アフリカや中近東への輸出拠点としても活用し、さらなる事業拡大を実現していきたいと考えています。

今回の契約締結にあたっては、私自身もエジプトに赴きましたが、現地では大変歓迎いただき、エルアラビ社との調印式には、モスタファ・マドブリー首相や大臣の方々もご臨席くださいました。さらに、エジプト政府から、当社の今後の事業展開に対して引き続きサポートいただけるとの力強いメッセージも頂戴しています。

他方、B2B分野においても、6月に台湾の産業コンピュータ分野大手であるENNOCONN社と、スマートリテールを中心とした協業の覚書を締結しており、現在、両社の商品のクロスセルや共同開発、コンビニ分野での協業等の具体的検討を進めています。

この他にも、AIやEV、次世代通信、グリーンエネルギー、インダストリー等の分野を中心に、“Next Innovation”の探索も加速しており、これについては、9月17日から二日間、東京国際フォーラムで開催する“Tech-Day’24 Innovation Showcase”において、その取り組みの一端を紹介する予定です。残すところ約1カ月となりましたが、関連部門の皆さんには万全の準備で当日を迎えていただきたいと思ひますし、反響の獲得や協業先の探索に、貪欲な姿勢で取り組んでいただけることを期待しています。

4. 最後に

本日お話しした通り、第1四半期の業績はほぼ想定通り着地し、中期経営方針の具体化に向けた取り組みについても着実に進展しています。

明日から日本では夏季休暇に入ります。暑い日が続いていますが、休暇中は健康や安全に気を付け、心身ともにリフレッシュしてください。そして休み明けから再び、年間黒字の達成、さらには将来の飛躍を目指して、共に頑張りましょう！